

令和4年度日本植物病理学会九州部会プログラム

令和4年11月16日(水)13時00分~17日(木)12時00分
会場:鹿児島大学郡元キャンパス 稲盛アカデミー棟 1階 A11+A12講義室
(鹿児島市郡元1丁目21番24号)

講演10分・討論3分(1鈴8分, 2鈴10分, 3鈴13分)

<16日の部>

12:00 開場
12:55 事務連絡

座長:(関根健太郎)

-
- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 13:00 | Evaluation of heat-treated seeds on inactivation of soybean-infecting viruses.
●Kongpuang Kamonpob ¹ , Soda, Y. ² , Sakamoto, M. ² , Yamasaki, S. ² , Takeshita, M. ¹
(¹ Fac. Agri. Univ. Miyazaki・ ² Oita Agri. Res. Ctr.) |
| 2 | 13:13 | アシベンゾラル S メチルの <i>Nicotiana benthamiana</i> への全葉処理によるキュウリモザイクウイルスの感染への影響について
●小林優大・竹下 稔
(宮崎大院農) |
| 3 | 13:26 | 宮崎県におけるピロウの生育異常に関する研究
●青山実樹 ¹ ・安達鉄矢 ¹ ・櫛間義幸 ² ・土屋健一 ² ・竹下稔 ¹
(¹ 宮崎大農・ ² 宮崎総農試) |
| 4 | 13:39 | サンセベリア炭疽病菌のホメオボックス(Hox)およびSte12遺伝子の破壊株作出と病原性との関わりについて
●小橋ひな・中村正幸・岩井 久
(鹿児島大農) |

座長:(中村正幸)

-
- | | | |
|---|-------|---|
| 5 | 13:52 | <i>Ralstonia pseudosolanacearum</i> ゲノム情報から予測されたレース4 特異的な hrpG 相同性遺伝子について
●日下部暖 ¹ ・飯山和弘 ¹ ・矢野和孝 ² ・土屋健一 ¹ ・堀田光生 ³ ・古屋成人 ¹
(¹ 九大院農・ ² 高知農技セ・ ³ 農研機構農環研) |
| 6 | 14:05 | 青枯病菌の純水中での生存に及ぼす初期懸濁濃度の影響について
●森 悠太・飯山和弘・土屋健一・古屋成人
(九州大院農) |
| 7 | 14:18 | マンゴー葉における炭疽病症状は <i>Colletotrichum</i> 属菌以外の病原糸状菌によっても引き起こされる
●前上門陽・田場 聡・原島恵介・西平守司・関根健太郎
(琉大農) |

座長:(井手洋一)

-
- | | | |
|---|-------|--|
| 8 | 14:31 | サツマイモ基腐病菌(Ddes)および乾腐病菌(Dbata)の全ゲノムシーケンス(WGS)を基に設計した通常および定量PCR用プライマー
●藤田将矢・中村正幸・岩井 久
(鹿児島大農) |
| 9 | 14:44 | サツマイモ基腐病の発生苗床から採取した苗の保菌状況と発病リスク |

○西岡一也・西 八束
(鹿児島農総セ)

10 14:57 **ナシ黒星病に対するマンデストロピン水和剤の果実における予防効果**

○藤田剛輝
(福島農総セ果樹研)

11 15:10 **福岡県におけるシュンギク葉枯病QoI剤耐性菌の発生**

○菊原賢次
(福岡農林試)

座長:(山崎修一)

12 15:23 **接種源として用いるタマネギベと病菌卵孢子保菌土壌の最適作製時期の検討**

○草場基章¹・日名田祐希¹・井手洋一²・古田明子²
(¹佐賀大・²佐賀農業セ)

13 15:36 **タマネギベと病の一次感染発病抑制を目的としたフルオピコリド・ベンチアバリカルブイソプロピル水和剤の植え付け前セルトレイ散布における希釈倍数と散布量の影響**

○田代暢哉^{1,3}・川内孝太²・草場基章³
(¹プラントヘルスケア研・²佐賀上場営農セ・³佐賀大農)

14 15:49 **抜き取ったタマネギベと病一次感染株の処分方法**

○古田明子・井手洋一
(佐賀農業セ)

15 16:02 **タマネギベと病に対する夏期湛水優良事例の条件**

○井手洋一・古田明子・福永正照
(佐賀農業セ)

16 16:15 ***Nicotiana benthamiana*におけるUV-B照射条件の最適化とキュウリモザイクウイルス感染への影響**

太田江美¹・松浦昌平²・○竹下 稔¹
(¹宮崎大院・²広島農技セ)

16:28 発表終了

16:30 令和4年度日本植物病理学会九州部会 幹事会 (会場 A21ゼミ室)

17:00 1日目終了

<17日の部>

9:00 令和3年度受賞者講演

講演50分, 討論10分

座長:山崎修一

地域貢献賞

「麦類および園芸作物における新病害の同定と防除技術に関する研究」

元 大分県農林水産研究指導センター農業研究部 部長 吉松英明氏

10:00 令和4年度日本植物病理学会九州部会 総会

- 17 10:25 **国内既発生6種オルトトスウイルスを識別するマルチプレックスRT-PCR法の開発**
○松山桃子¹・島田涼子²・富高保弘¹
(¹農研機構植防研・²神奈川農技セ)
- 18 10:38 **モザイク症状を呈するユーコムス属植物から検出されたornithogalum virus 3**
○富高保弘・松山桃子・上野豪俊
(農研機構)
- 19 10:51 **ニガウリから検出されたスイカ灰白色斑紋ウイルスの分離**
○関根健太郎¹・三輪郁奈¹・辛島なつ¹・富高保弘²
(¹琉球大農・²農研機構植防研)

- 20 11:04 **アスパラガス褐斑病に対する常温煙霧機を用いた夜間防除の効果**
○菅 康弘・吉村友加里
(長崎農技セ)
- 21 11:17 **降雨量と薬剤特性を考慮した効果的なサトイモ疫病 (*Phytophthora colocasiae*) の防除**
○本田 傑・児玉 真一郎・湯田 達也・西岡 一也
(鹿児島農開セ)
- 22 11:30 **2種*Diaporthe* 属菌によるマンゴー軸腐病 (病原追加)**
○安次富 厚¹・蓑島綾華²・澤岨哲也¹・Hanh. H. thuong³・大城 篤⁴・山城麻希⁵・新崎 千江美⁶・廣岡裕吏³
(¹沖縄農研セ・²神奈川農技セ・³法政大植物医科・⁴沖縄農研セ名護・⁵沖縄中部普セ・⁶沖縄北部普セ)

11:43 閉会挨拶